



## 2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年11月7日

上場会社名 サンコーテクノ株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 3435 URL <http://www.sanko-techno.co.jp/>  
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 洞下 英人  
 問合せ先責任者(役職名) 経営管理本部長 (氏名) 甲斐 一起 (TEL) 04-7178-6530  
 四半期報告書提出予定日 2019年11月8日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 2020年3月期第2四半期の連結業績(2019年4月1日~2019年9月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	8,734	15.0	566	14.8	572	10.0	362	7.7
2019年3月期第2四半期	7,592	0.8	493	17.0	520	22.4	337	27.4

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 370百万円(30.6%) 2019年3月期第2四半期 284百万円(△13.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	44.40	43.98
2019年3月期第2四半期	41.27	40.86

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	17,317	12,519	70.7
2019年3月期	16,067	12,338	75.2

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 12,240百万円 2019年3月期 12,083百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	-	0.00	-	24.00	24.00
2020年3月期	-	0.00	-	-	-
2020年3月期(予想)	-	-	-	26.00	26.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	18,300	7.5	1,390	5.5	1,410	5.7	965	2.3	118.03

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 1社(社名) 成光産業株式会社、除外 -社(社名)

(注) 詳細は、添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2020年3月期2Q	8,745,408株	2019年3月期	8,745,408株
2020年3月期2Q	569,518株	2019年3月期	569,518株
2020年3月期2Q	8,175,890株	2019年3月期2Q	8,167,924株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

2. 当社は2019年11月29日に機関投資家・アナリスト向け決算説明会を開催する予定であります。この説明会で使用する資料につきましては、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定であります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	8
(セグメント情報)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、個人消費の改善に遅れがみられたものの、政府による経済政策等により、企業収益や雇用情勢の改善がみられ、景気は緩やかな回復基調となりました。

当社グループが関連する建設市場におきましては、都市再開発やインフラ整備、東京オリンピック・パラリンピック関連事業を中心として、民間設備投資・公共投資ともに底堅い動きがみられました。しかしながら、建設技能労働者の慢性的な不足は解消されておらず、引き続き施工体制の確保が重要な課題となっております。また、利益面においては、資材価格や労務費の上昇等による影響から、厳しい状況が続いております。

このような状況の中、当社グループにおきましては、「中期経営ビジョン 2020」のもと、成長戦略のキーワードとして掲げる「安定供給」、「安定品質」、「市場創出」のいっそうの促進に努めてまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は8,734百万円（前年同期比15.0%増）、営業利益566百万円（同14.8%増）、経常利益572百万円（同10.0%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は362百万円（同7.7%増）となりました。

各セグメントの業績は以下のとおりであります。

#### ① ファスニング事業

各種設備工事等の需要は、民間工事および公共工事において前年を上回る水準で推移しており、当社の主力製品であるあと施工アンカーの販売は好調に推移いたしました。さらに、完成工事高が増加したことや、ドリル・ファスナー製品の販売が増加したことから、総じて堅調に推移いたしました。

この結果、当セグメントの売上高は6,580百万円（前年同期比8.4%増）、セグメント利益は783百万円（同4.1%増）となりました。

#### ② 機能材事業

電動油圧工具関連の販売が、国内・海外ともに好調に推移いたしました。また、電子基板関連およびアルコール検知器関連が好調に推移した一方、FRPシート関連は減少いたしました。さらに、新たに包装・物流機器関連が加わったことにより売上高が増加いたしました。

この結果、当セグメントの売上高は2,153百万円（同41.4%増）、セグメント利益は192百万円（同34.3%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末より1,249百万円増加して17,317百万円となりました。これは主として現金及び預金、たな卸資産が増加したことによるものであります。

負債の合計は前連結会計年度末より1,069百万円増加して4,798百万円となりました。これは主として短期借入金、長期借入金が増加したことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末より180百万円増加して12,519百万円となりました。これは主として利益剰余金が増加したことによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度と比較して495百万円（38.4%）増加し、1,783百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動による資金の増加は、646百万円（前第2四半期連結累計期間は634百万円の増加）となりました。これは主として税金等調整前四半期純利益572百万円に加え、減価償却費が159百万円、売上債権の減少額が412百万円となった一方、たな卸資産の増加額が120百万円、法人税等の支払額が235百万円となったことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動による資金の減少は、387百万円（同64百万円の減少）となりました。これは主として連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出が324百万円となったことによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動による資金の増加は、200百万円（同613百万円の減少）となりました。これは主として長期借入れによる収入が581百万円となった一方、長期借入金の返済による支出が105百万円、配当金の支払額が196百万円となったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期通期の連結業績予想につきましては、2019年5月14日公表の業績予想から変更ありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,350,454	1,849,770
受取手形及び売掛金	3,797,889	3,751,862
たな卸資産	3,775,784	4,085,778
その他	502,377	628,997
貸倒引当金	△455	△549
流動資産合計	9,426,051	10,315,859
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,563,493	1,624,010
土地	3,114,253	3,423,842
その他(純額)	681,576	717,100
有形固定資産合計	5,359,323	5,764,954
無形固定資産	64,718	51,177
投資その他の資産	1,217,599	1,185,510
固定資産合計	6,641,641	7,001,641
資産合計	16,067,692	17,317,501
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,353,387	1,394,878
短期借入金	54,155	495,040
未払法人税等	253,494	214,532
賞与引当金	122,790	161,124
その他	507,175	587,156
流動負債合計	2,291,003	2,852,731
固定負債		
長期借入金	131,653	601,741
役員退職慰労引当金	20,784	13,651
退職給付に係る負債	1,141,090	1,161,976
その他	144,234	168,028
固定負債合計	1,437,761	1,945,396
負債合計	3,728,765	4,798,128
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	768,590	768,590
資本剰余金	590,562	581,208
利益剰余金	10,633,512	10,800,286
自己株式	△229,501	△229,501
株主資本合計	11,763,162	11,920,583
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	32,924	21,672
繰延ヘッジ損益	88,410	77,479
為替換算調整勘定	199,036	220,361
その他の包括利益累計額合計	320,371	319,513
新株予約権	51,733	57,538
非支配株主持分	203,659	221,737
純資産合計	12,338,927	12,519,372
負債純資産合計	16,067,692	17,317,501

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
売上高	7,592,732	8,734,877
売上原価	5,196,213	6,092,924
売上総利益	2,396,519	2,641,952
販売費及び一般管理費	1,902,909	2,075,316
営業利益	493,610	566,635
営業外収益		
受取利息	690	650
受取配当金	1,740	1,797
仕入割引	14,542	14,886
投資不動産賃貸料	13,028	10,800
持分法による投資利益	526	568
為替差益	45,313	29,942
その他	15,093	17,537
営業外収益合計	90,934	76,183
営業外費用		
支払利息	685	1,531
売上割引	55,221	61,624
その他	8,285	7,474
営業外費用合計	64,192	70,630
経常利益	520,352	572,189
特別利益		
固定資産売却益	545	5
特別利益合計	545	5
特別損失		
固定資産除却損	0	5
特別損失合計	0	5
税金等調整前四半期純利益	520,898	572,189
法人税等	178,792	205,612
四半期純利益	342,105	366,577
非支配株主に帰属する四半期純利益	5,025	3,581
親会社株主に帰属する四半期純利益	337,080	362,995

## 四半期連結包括利益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
四半期純利益	342,105	366,577
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	10,641	△11,253
繰延ヘッジ損益	1,647	△10,930
為替換算調整勘定	△70,363	26,558
その他の包括利益合計	△58,075	4,374
四半期包括利益	284,030	370,952
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	286,865	362,137
非支配株主に係る四半期包括利益	△2,835	8,814



## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	520,898	572,189
減価償却費	155,955	159,160
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	9,504	△1,490
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	96	△7,133
賞与引当金の増減額 (△は減少)	24,588	34,122
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△531	△701
受取利息及び受取配当金	△2,430	△2,448
支払利息	685	1,531
固定資産売却損益 (△は益)	△545	△5
固定資産除却損	-	5
売上債権の増減額 (△は増加)	533,946	412,256
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△546,198	△120,164
仕入債務の増減額 (△は減少)	226,488	△8,715
その他	△67,045	△156,789
小計	855,412	881,817
利息及び配当金の受取額	2,473	2,493
利息の支払額	△645	△1,670
法人税等の支払額	△222,667	△235,703
営業活動によるキャッシュ・フロー	634,572	646,936
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の純増減額 (△は増加)	△7	△5,008
有形固定資産の取得による支出	△63,985	△55,303
有形固定資産の売却による収入	745	5
無形固定資産の取得による支出	△371	△2,408
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	-	△324,373
貸付けによる支出	△2,882	△92
貸付金の回収による収入	3,701	2,127
その他	△1,370	△2,248
投資活動によるキャッシュ・フロー	△64,169	△387,301
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の増減額 (△は減少)	△280,000	△74,889
長期借入れによる収入	-	581,112
長期借入金の返済による支出	△150,004	△105,060
配当金の支払額	△179,376	△196,332
非支配株主への配当金の支払額	△60	△90
その他	△4,523	△4,095
財務活動によるキャッシュ・フロー	△613,964	200,644
現金及び現金同等物に係る換算差額	17,803	34,993
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△25,757	495,273
現金及び現金同等物の期首残高	1,409,935	1,288,392
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,384,177	1,783,665

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

第1四半期連結会計期間において、成光産業株式会社及びその子会社である成光パック株式会社を株式の取得により子会社化し、連結の範囲に含めております。

なお、成光産業株式会社は、当社の特定子会社に該当しております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	ファスニング 事業	機能材事業			
売上高					
外部顧客への売上高	6,069,499	1,523,233	7,592,732	-	7,592,732
セグメント間の内部売上高 又は振替高	43,593	100,212	143,806	△143,806	-
計	6,113,093	1,623,446	7,736,539	△143,806	7,592,732
セグメント利益	752,977	143,394	896,372	△402,761	493,610

(注) 1. セグメント利益の調整額△402,761千円には、セグメント間取引消去515千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△403,277千円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	ファスニング 事業	機能材事業			
売上高					
外部顧客への売上高	6,580,877	2,153,999	8,734,877	-	8,734,877
セグメント間の内部売上高 又は振替高	53,760	144,962	198,722	△198,722	-
計	6,634,637	2,298,962	8,933,599	△198,722	8,734,877
セグメント利益	783,949	192,628	976,577	△409,941	566,635

(注) 1. セグメント利益の調整額△409,941千円には、セグメント間取引消去△2,696千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△407,245千円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「機能材事業」セグメントにおいて、2019年6月30日をみなし取得日として成光産業株式会社及びその子会社である成光パック株式会社の株式を取得したことにより、同社を連結の範囲に含めております。当該事象により、のれんが3,941千円発生しております。

なお、のれんの金額は、当第2四半期連結会計期間末において取得原価の配分が完了していないため、暫定的に算定された金額であります。